

- 説明書をよく読み、安全上の注意事項をすべて遵守してください。
- 取り付けは専門知識を有する自転車販売店で行ってください。
- 不適切な取り付けはバイクのハンドリングに悪影響を及ぼし、思わぬ事故を引き起こす恐れがあります。
- 説明書には以下の記号が使用されています。これらの指示に注意してください。

- ⚠ 警告 組み立てに関する重要な注意事項。この警告に従わない場合、思わぬ事故を引き起こす恐れがあります。
- ① ヒント 取り付けやメンテナンス、損傷を防ぐためのヒント。

① すべてのネジには挿入前に軽くグリスを塗布する必要があります。

本製品は、金属製のアヘッドステム用コラム[図1 GS]との組み合わせを推奨しています。

取り付け前に、コラム固定ボルト[図1 S1]及び[図3 S2]を外します。ハンドルキャップ[図1 LD]のボルト[図1 S5]は手で軽く締めます。

図 .1

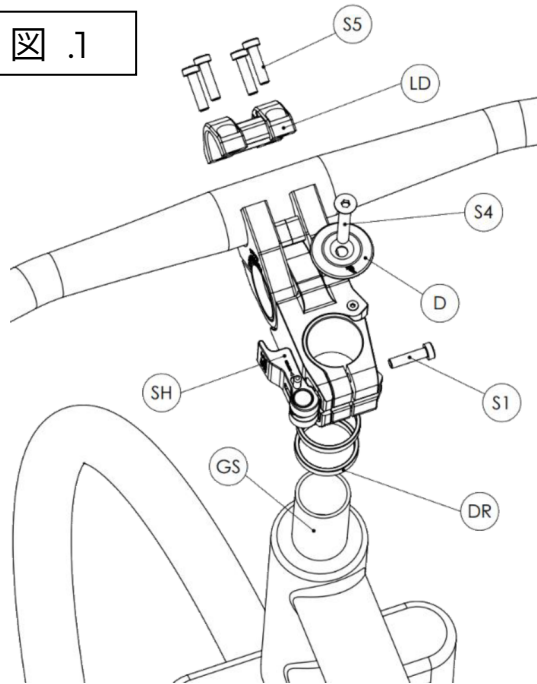
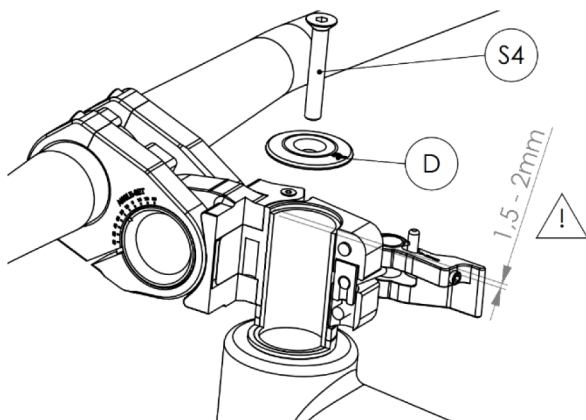
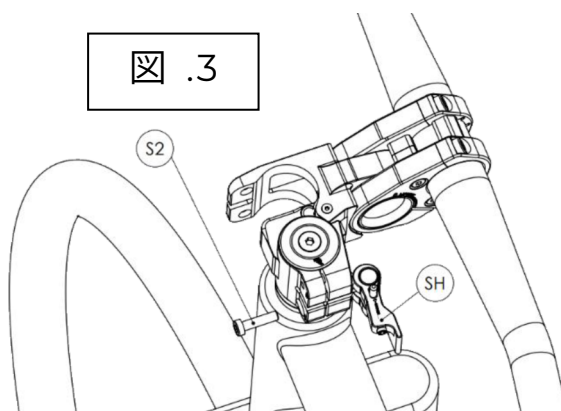


図 .2



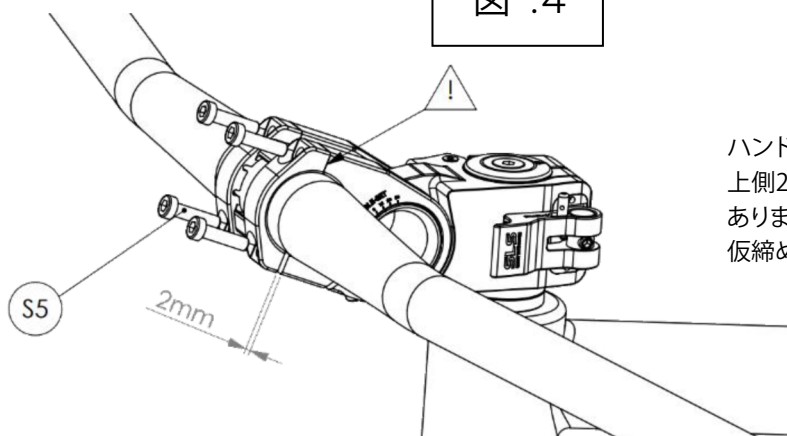
別売のコラムスペーサー[図1 DR]を使用し、コラムの上端からステムの上端が**1.5~2mm**突出するように調整してください。調整後、トップキャップ[図2 D]のボルト[図2 S4]を**1.5~2Nm**で締めます。この際、コラム固定ボルト[図1 S1]及び[図3 S2]が外れていることを確認してください。

図 .3



ステムのセンター位置を調整し、ボルト[図1 S1]を仮締めします。リリースレバー[図3 SH]を開き、ボルト[図3 S2]を仮締めします。ボルト[図1 S1]及び[図3 S2]を**6Nm**で締めます。

図 .4



ハンドルキャップ[図1 LD]のボルト[図4 S5]は、最初に上側2本を完全に締めてから下側2本を締める必要があります。ハンドルの高さ調整は、上側2本のみ仮締めした状態で行います。

ステム裏のボルト[図5 S3]を緩め、ハンドルの高さを調整します。高さ調節後、ボルト[図5 S3]を**8Nm**で締めます。ハンドルの角度を調整し、ボルト[図4 S5]の上側2本を**8Nm**で締めた後に下側2本を**8Nm**で締めます。

図 .5

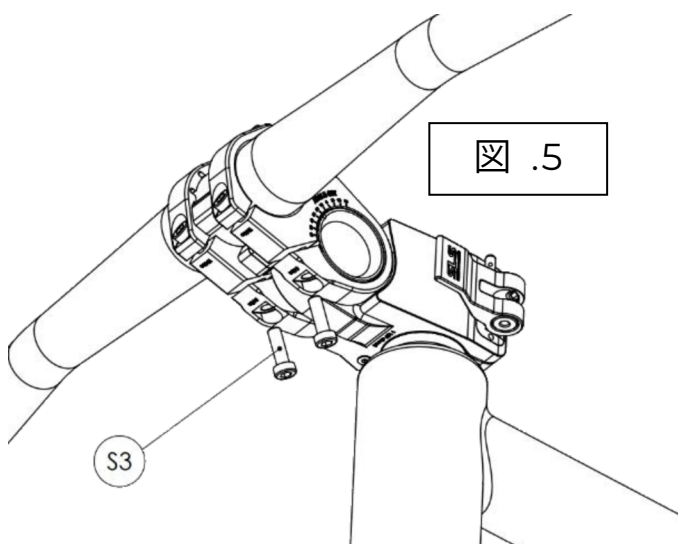
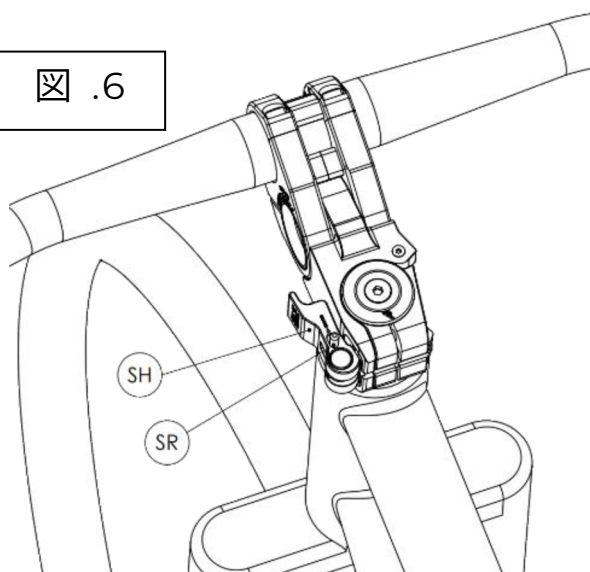
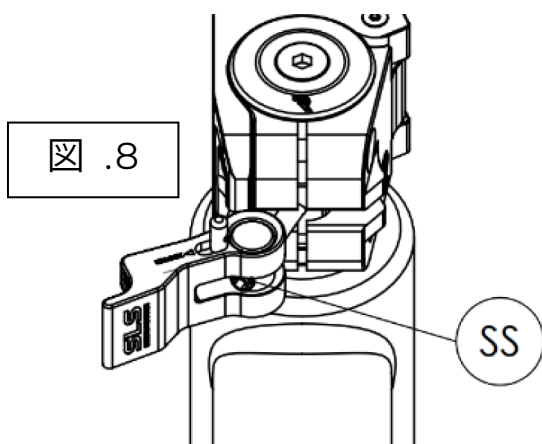
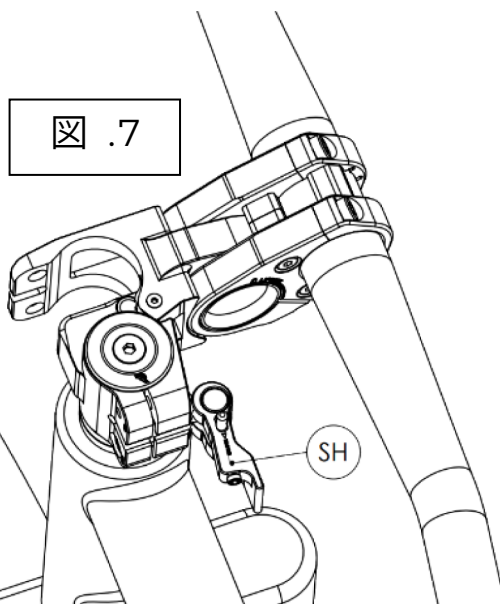


図 .6



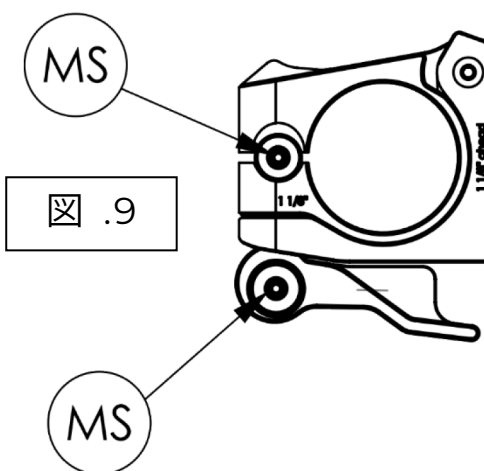
ステムを折り畳む際は、リリースレバー[図6 SH]を開きます。リリースレバーを開く時は、ロックングラッチ[図6 SR]を前方向にスライドしてください。

ステムを折り畳むと、90°の位置で固定されます。リリースレバー[図7 SH]を図7の位置で締めます。**ステムを折り畳んだ状態ではハンドルを持ち上げないでください。**



リリースレバーの固定力は、テンションスクリュー[図8 SS]で調整できます。(3mmレンチ使用)  
図6の位置で無理なく開閉できるように調整してください。また、リリースレバーを閉じたときにロックングラッチが噛み合っていることを必ず確認してください。

頻繁な操作や時間経過によってリリースレバー[SH]が緩んだ際は、ステム裏側にあるイモネジ[図9 MS]の緩みを確認してください。イモネジを締めるためには、ボルト[図3 S2]を取り外す必要があります。



#### ⚠ 安全上の注意事項

- ハンドルを回した際、ケーブルによじれや張りがなく、適正な長さであることを確認してください。
- ステムやハンドルにチャイルドシートやラックなどのアタッチメントを取り付けしないでください。通常使用時に想定される以上の負荷がかかるとステムが破損する可能性があります。
- ステムを折り畳んだ状態でハンドルを持ち上げたり、移動時に固定したりしないでください。
- ステム取り付けから50km走行後、毎メンテナンス時、もしくは少なくとも年1回(1000km走行ごと)、締め付けトルクを再確認してください。
- 本製品は日常使用向けに設計されています。ダウンヒルやデュアルスロラーム、フリーライド、その他それらに類する用途では使用しないでください。
- ハンドル幅680mm以内、ライダーの体重(荷物を含む)100kg以内での使用を推奨します。

〈販売元〉 株式会社フカヤ

〒460-0015 愛知県名古屋市中区大井町1-37 フカヤビル3階 TEL 052-228-8910